

典拠データの将来像：著作典拠を中心に

橋詰秋子（実践女子大学）

令和6年度 書誌調整連絡会議（国立国会図書館）

2025年3月18日



図書館による情報資源メタデータ コアコンピタンス

①統制語による主題の組織化

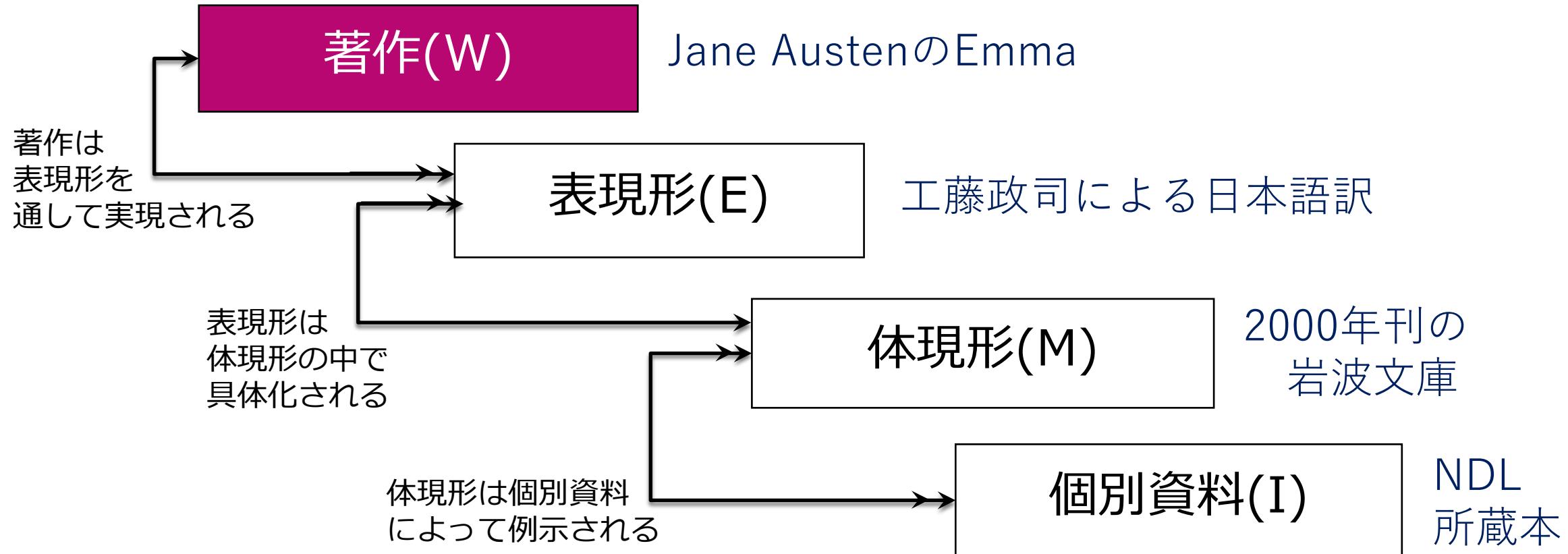
= 件名標目, 分類

典拠コントロール

②書誌的世界の中での関連付け

= 特に, 著作 – 表現形 – 体現形 – 個別資料

NCR2018でいうところの「資料に関する基本的な関連」



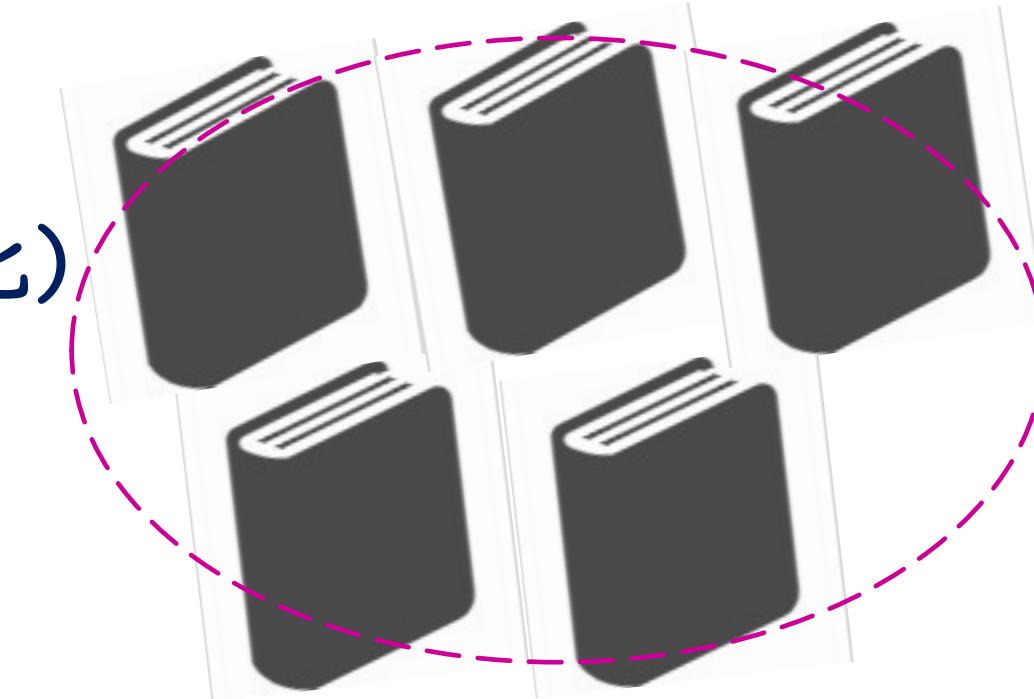
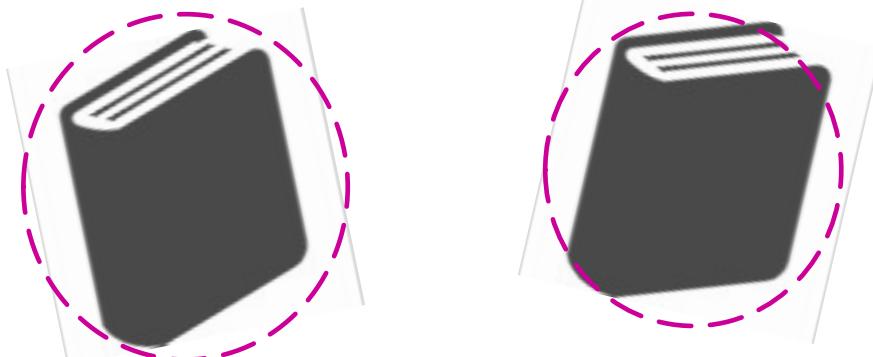
知的・芸術的成果を表す4つの実体(FRBR 1998)

著作(WORK)

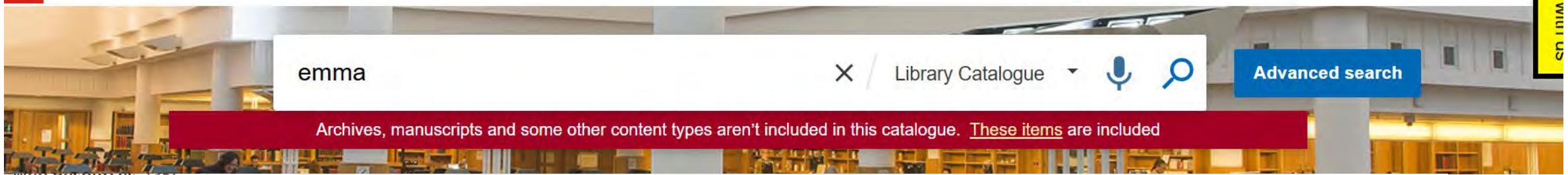
定義(NCR2018)：

個別の知的・芸術的創作の結果, すなわち知的・芸術的内容を表す実体

→ 体現形単位の書誌レコードを
著作単位でコロケーション(集中化)



典拠IDや典拠形APを同定キーにして⁴
同一著作集合を作成



emma



Library Catalogue



Advanced search

Web Resources (35)

[Show More](#)[Author/Creator ^](#)

Marshall, Emma (223)

Darcy, Emma (171)

Chichester Clark, Emma (144)

Leslie, Emma (141)

University of Cambridge (137)

[Show More](#)[Subject ^](#)

English fiction (159)

Fiction in English 1945- Texts (100)

Great Britain (90)

Medicine (82)

Large type books (70)

3



MULTIPLE VERSIONS

Emma

McCall Smith, Alexander, 1948- author.; Austen, Jane, 1775-1817.



...

4



BOOK

Emma

Po, Tse, artist.; Chan, Crystal S., author.; King, Stacy, author.; Austen, Jane, 1775-1817.

May 2015



...

5



MULTIPLE VERSIONS

Emma

Austen, Jane, 1775-1817, author.; Lodge, David, 1935-

British Library Catalogue

https://bl01.primo.exlibrisgroup.com/discovery/search?vid=44BL_INST:BL01&lang=en&gl=1*1dzpg36*ga*MTQyMjc4NTU3Ni4xNzM5MzIyNTkw*ga_B8DBRB95KV*MTc0MTQ4MDMwNy40LjEuMTc0MTQ4MDMxMC41OC4wLjA (accessed 2025-03-09)

9

6



JOURNAL

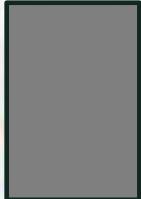
Emma (London, England : 1978)

...



0 selected PAGE 1 1-10 of 136 Results ▾

1



BOOK

The annotated Emma

Austen, Jane, 1775-1817, author.; Shapard, David M.
2012

Should be available >



EN



...

2



BOOK

Emma

Austen, Jane, author.; Baulch, Michael, author.
2014

Not Available >

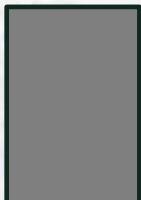


EN



...

3



BOOK

Emma

Austen, Jane, 1775-1817, author.; John, Judith, writer of supplementary textual content.
New edition.; 2019

Should be available >



EN



...

4



BOOK

Emma

Austen, Jane, 1775-1817, author.01&lang=en&g
l=1*1dzpg36* ga*MTQyMjc4NTU3Ni4xNzMMzIyNTkw* ga B8DBRB95KV*MTc0MTQ4
MDMwNy40LjEuMTc0MTQ4MDMxMC41OC4wLjA. (accessed 2025-03-9)

Should be available >

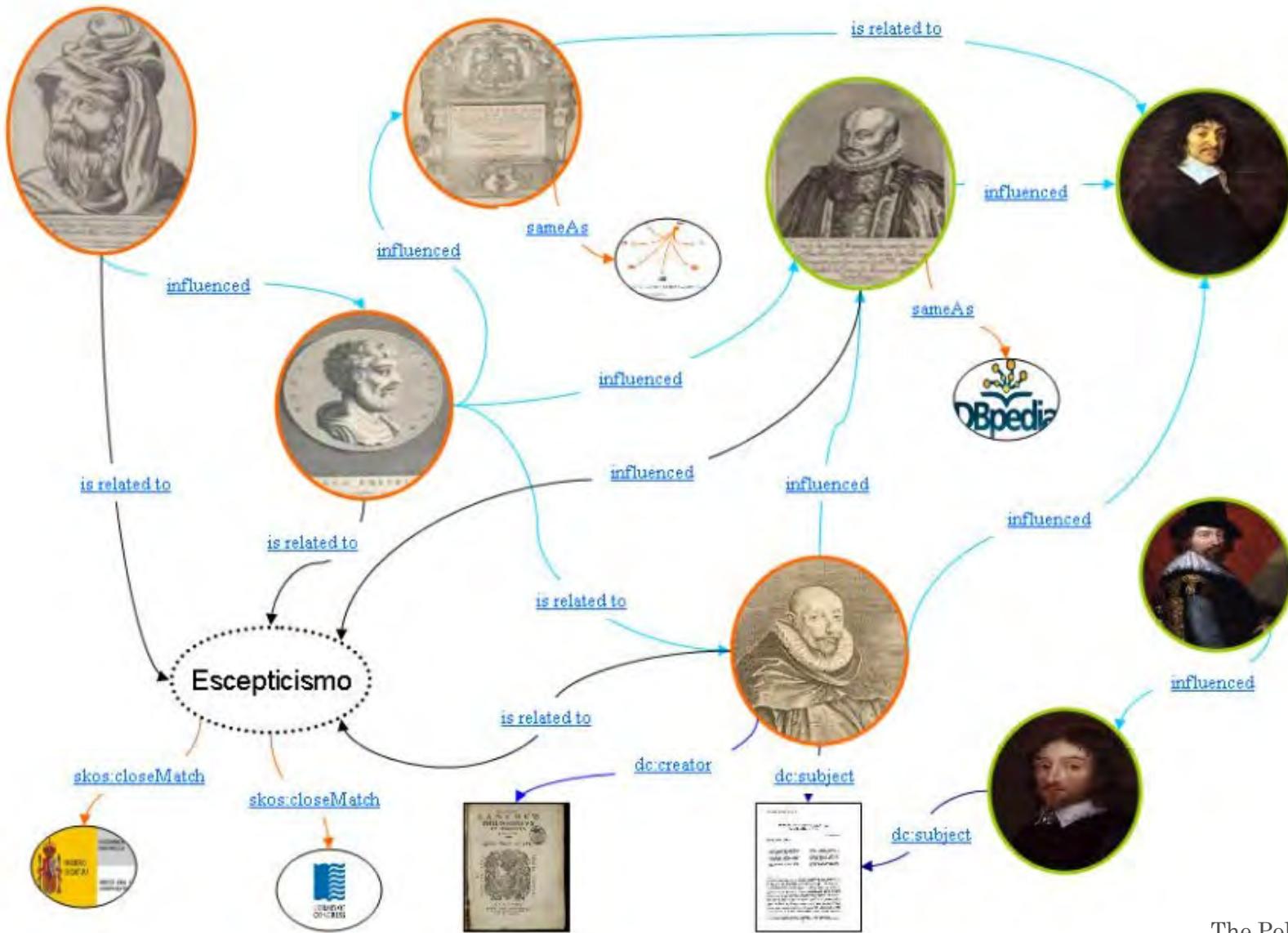
British Library Catalogue

<https://bl01.primo.exlibrisgroup.com/discovery/ulrichsweb/ulrichsweb01&lang=en&g>
l=1*1dzpg36* ga*MTQyMjc4NTU3Ni4xNzMMzIyNTkw* ga B8DBRB95KV*MTc0MTQ4
MDMwNy40LjEuMTc0MTQ4MDMxMC41OC4wLjA. (accessed 2025-03-9)

FRBRization

THE POLYMATH VIRTUAL LIBRARY

LODによる 目録外における 活用可能性



スペインの博学者とその著作の間の関係を可視化

典拠データをEuropeana、VIAF、DBpedia等のデータでエンリッチメント

NCR2018により、著作の典拠コントロールが本格的に開始

→欧米と異なり、日本のカタログは著作典拠の作成経験が少ない

→日本の図書館界では、著作や典拠の重要性が共通認識ではない

NDLへの期待：

著作典拠データのさらなる拡充

- 作成・付与範囲の拡充

国際書誌コントロールの観点から、日本の著作は日本の図書館が責任を

例：選集を構成する各古典作品への付与

多言語で出版された日本の著作の典拠データ（マンガ、アニメなど）➡コンテンツ業界

- 他の典拠データ作成機関との連携協力体制の確立

コミュニティの形成（国際動向の情報共有、交流：悩み相談）

作成事例の蓄積・共有・解説

他機関作成典拠とNDL典拠との統合検索

NDLへの期待：

目録のための典拠データからサービスとしての典拠データへ

- ・永続的識別子の付与拡充と利用促進
 - ・他機関作成の典拠データと結び付けやすい識別子
 - ・図書館外の他データと結び付けやすい識別子
- ・NDLの目録以外での利活用の促進
 - ・国内の図書館／海外の図書館／類縁機関(M,L)／研究者
 - ・**WebNDLAのLOD**を活かしたユースケースの作成・紹介 (アイデアソン)
 - ・作成者・利用者への研修

典拠データのLOD化

他データとリンクしやすい形式かつ自由に利用可能なライセンスでウェブ公開

LOD化によって考えられるメリット

- 図書館外で使用されることでデータの価値を広く示す
- 目録以外での活用(ex.DH)によって、新たな発見を促す
- 国内・国際的なデータ作成のエコシステムに貢献する

“公開は易し、 宣伝は難し”

OCLCリンクトデータの取り組み(OCLC News72号)

https://mirai.kinokuniya.co.jp/2024/07/51245/#OCLCNews_72_0

広く知ってもらい使ってもらうための工夫が必要

【データの工夫】WikidataやISNIなどの分野横断的な識別子

【周知の工夫】図書館内外のユーザーコミュニティとつながる